

## ▼メタストロン注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 塩化ストロンチウム塩化ストロンチウム (89Sr) strontium (89Sr) chloride

【分類】 骨転移疼痛緩和放射性同位体

【単位】 ▼3.8mL/V [141MBq]

【常用量】 1回 2.0MBq/kg [最大 141MBq]、反復投与時の投与間隔は3か月以上

【用法】 静注

【透析患者への投与方法】 慎重投与 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 慎重投与 (1)

【特徴】 固形癌患者の骨転移部位の頭痛緩和に適用される放射性同位体製剤。

【主な副作用・毒性】 骨髄抑制、一時的な骨痛の増強 (flare response)、ほてり、注射部位反応など。白血球・血小板減少の nadir は投与後約 90 日 (Gunawardana DH, et al: Clin Nucl Med 29:81-85, 2004)

【F】 投与後 27 ~31 日で 22~82%が全身に保持される (1)

【排泄】 尿中回収率 7~20% (1)

【t1/2】 物理的半減期：50.5 日 (β-壊変) (1)

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】 159.91

【透析性】

【備考】 疼痛の緩和は徐々に発現する。ビスホスホネートの前投与は避ける。

【更新日】 20140821

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。